

首都圏甲府会2020年度

オンライン総会・講演会

2020年11月27日午後5時～7時半

協賛：山梨中央銀行 山日YBSグループ (株)テレビ山梨 (株)早野組

講演会後援：甲府市

首都圏甲府会オンライン総会・講演会次第

第 1 部 総 会(17:00～17:50)

司会 千須和 厚至

1、 首都圏甲府会会長挨拶

中村 和男

2、 議 案 (1) 19年度活動報告・19年度決算報告

(2) 20年度活動計画(案)・20年度予算 (案)

(3) 19年度会計監査報告

望月 吉彦

(4) 新会長選任 (案)、会則・表彰規定改定 (案)

(5) 新会長挨拶

島田 敏男

3、 首都圏甲府会役員代表挨拶

名誉顧問

甲府市長 樋口 雄 一

4、健康セミナー 「今こそ生き甲斐」

中村 和男

5、首都圏甲府会賞表彰

	甲府南高校	天野 航成	様
	甲府第一高校	飯野 理奈子	様
	甲府工業高校	加藤 勇典	様
	県立かえで支援学校	小林 健太郎	様
	山梨大学附属中学校	滝本 妃	様
団体賞	山梨英和高校	自然科学部	様
団体賞	山梨大学附属中学校	チームピヨッピー	様

6、閉会の挨拶

会長代行 飯田 富美子

休憩（17：50～18：00）

第 2 部 オンライン講演会(18:00～)

司会 山形 由紀子

1、 I・Uターンパネルディスカッション 事業体験談

進行 島田 敏男

農家

市川 哲平 様

特定行政書士

丹澤 仁 様

登山ツアーガイド会社経営

柳澤 隆広 様

2、 ふるさと応援記念講演

『Go To Kofu、新型コロナウイルス対策と取り組みについて』

山梨大学学長 島田 眞路 様

3、 まとめの言葉

新会長 島田 敏男

終了 (19:30)

2019年度 活動報告

自：2019年1月1日 至：2019年12月31日

実施月日	主要な事業および参加行事（抜粋）
1月4日	第1回役員会（於：シミックHD）
2月4日	第2回役員会（於：シミックHD）
2月23日	第10回総会・交流会（於：アルカディア市ヶ谷私学会館）
3月14日	第3回役員会（於：シミックHD）
4月6日	こうふ開府500年記念式典（於：甲府市総合市民会館）
4月20日	第6回水源林植樹会（於：甲府市奥御岳市有林・マウントピア黒平）参加
5月14日	第4回役員会（於：シミックHD）
5月25日	第70回山梨県人会連合会 創立70周年記念総会・大会（於：アイメッセ山梨）
6月3日	第5回役員会（於：シミックHD）
7月8日	第6回役員会（於：シミックHD）
10月19日	ヴァンフォーレ甲府 v s 東京ベルディ応援イベント（味の素フィールド西が丘）
8月5日	第7回役員会（於：シミックHD）
9月3日	第8回役員会（於：シミックHD）
10月25日	第9回役員会（於：小淵沢アートヴィレッジ）
10月26日	甲府大好きまつり（於：小瀬スポーツ公園）参加
11月6日	知事とやまなしの未来を語る会（於：京王プラザホテル）参加
12月7日	10周年記念フォーラム（於：甲府市総合市民会館）
12月21日	NEXT KOFU 開府500年から未来の甲府へ（於：甲府市総合市民会館）

2019年度 決算報告

自:2019年1月1日 至:2019年12月31日

(単位:円)

収 入		支 出	
科目	金額	科目	金額
役員年会費	490,000	第10回総会費	1,773,050
第10回総会費	1,579,000	甲府大好きまつり参加費	93,846
甲府大好きまつり参加費	82,000	ヴァンフォーレ甲府応援イベント	122,800
ヴァンフォーレ甲府応援イベント 25名	122,800	10周年記念フォーラム	516,927
10周年記念フォーラムご祝儀・広告	520,000	事業支出	1,893,173
雑収入	1,991,745	通信費・印刷費・事務費・広告	170,525
利息	8		
収入計	4,785,553	支出計	4,570,321
前期繰越	1,840,788	次期繰越	2,056,020
合計	6,626,341	合計	6,626,341

上記の通り決算報告申し上げます。

事務局
会計

朱宮 明美
石井 孝明

2020年 2月 29日

監査の結果、正確であることを認めます。

監査

中田 猛夫

2020年度 活動計画（案）

自：2020年1月1日 至：2020年12月31日

実施月日	主要な事業および参加行事
1月24日	山梨県人会連合会新春賀詞交歓会（於：目黒雅叙園）参加
1月25日	甲州金まんじゅう（商標登録）甲府ブランド認定
2月28日	第1回役員会（於：シミックHD）
7月14日	第2回役員会（於：シミックHD）
8月31日	第3回役員会（於：シミックHD）
10月5日	第4回役員会（於：シミックHD）
11月10日	第5回役員会（於：シミックHD）
11月5日	山梨県人会連合会臨時総会・知事とふるさとを語る会 （京王プラザホテル）
11月27日	第11回首都圏甲府会オンライン総会・講演会 （甲府ふるさと応援事業含む）

2020年度 予算（案）

自:2020年01月01日 至:2020年12月31日

（単位：円）

収入		支出	
役員年会費	500,000	第11回首都圏甲府会総会・講演会費 （ふるさと応援事業費補助金含）	1,500,000
第11回首都圏甲府会総会・講演会費 （ふるさと応援事業費補助金含）	1,300,000	VF甲府応援イベント諸経費	200,000
VF甲府応援イベント参加費	200,000	甲府大好きまつり諸経費	120,000
甲府大好きまつり参加費	120,000	通信費・印刷費・事務費	300,000
雑収入	2,000,000	諸雑費	1,800,000
収入計支出計	4,120,000	支出計	3,920,000
前期繰越	2,056,020	次期繰越	2,256,020
合計	6,176,020	合計	6,176,020

2020年 2月29日

会長	中村 和男
事務局長	朱宮 明美
会計	石井 孝明

首都圏甲府会 会則改定案

※下線部は修正箇所

現 行	改 正
(役員) 第4条 本会に次の役員をおく。 会長1名、会長代行3名、副会長若干名、会計2名、事務局長1名、理事若干名、監事2名	(役員) 第4条 本会に次の役員をおく。 <u>なお、会長は1名、他の役員は若干名とする。</u> <u>会長、会長代行、副会長、会計、事務局長、理事、監事</u>
(名誉会長及び顧問) 第8条 1 本会に、名誉会長、顧問、相談役をおくことができる。 2 名誉会長、顧問、相談役は会長が会員に諮りこれを推薦する。	(名誉会長及び名誉顧問) 第8条 1 本会に、名誉会長、 <u>名誉顧問</u> 、相談役をおくことができる。 2 名誉会長、 <u>名誉顧問</u> 、相談役は会長が会員に諮りこれを推薦する。
(経費等) 第9条 2 年会費は、会長5万円、会長代行3万円、副会長3万円、理事1万円、監事3万円、名誉会長1万円、顧問1万円、相談役1万円、一般団体1万円とし、会計年度中に納入する。	(経費等) 第9条 2 年会費は、会長5万円、会長代行3万円、副会長3万円、理事1万円、監事3万円、 <u>名誉会長5万円、名誉顧問1万円</u> 、相談役1万円、一般団体1万円とし、会計年度中に納入する。

首都圏甲府会 表彰規程改定案

※下線部は修正箇所

現 行	改 正
(目的) 第1条 本会の目的に照らし、顕著な功績のあったものを会長賞として表彰する。	(目的) 第1条 本会の目的に照らし、顕著な功績のあったものを<u>首都圏甲府会賞</u>として表彰する。
(推薦基準) 第3条 1 文化、スポーツ活動において、国内大会優勝、世界大会入賞、または、それに準ずる成績を収めた、甲府市出身、卒業、在学、在職などの縁のある、成人、学生、生徒、児童、団体ほかの若干名。	(推薦基準) 第3条 1 文化、スポーツ活動において、国内大会優勝、世界大会入賞、または、それに準ずる成績を収めた、甲府市出身、卒業、在学、在職などの縁のある、成人、学生、生徒、児童、団体ほかの若干名。<u>ただし、若者を優先する。</u>

【首都圏甲府会 新体制役員】

- * 名誉顧問： 樋口雄一（甲府市長）
- * 名誉会長： 中村和男
- * 会長： 島田敏男
- * 会長代行： 飯田富美子・朱宮明美（事務局）
- * 副会長： 荒井恵凰・武田邦信・望月吉彦・山下昌彦
- * 理事： 石井孝明(会計)・千須和厚至(書記)・山本秀彦(IT)
・ 赤須玲子・小川朗・海沼弘忠・窪田浩之・清水まり子
・ 中込元伸・望月眞弓
- * 監事： 中田猛夫・門西栄一
- * 相談役： 新津修（県人会連合会事務局長）
- * 甲府市： 情報発信課

健康セミナー

今こそ生き甲斐

～Beyond The Corona～

首都圏甲府会会長 中村 和男

甲府市出身。1965年甲府一高卒業 1969京都大学薬学部卒業、2008年金沢大学自然科学研究科博士課程修了、薬学博士、1969年三共(株)入社、1992年シミック(株)代表取締役就任、現在シミックホールディングス(株)代表取締役CEO、首都圏甲府会発足2010年より今期まで会長を務める。



首都圏甲府会 島田敏男 新会長プロフィール

- ・昭和34年（1959年）3月山梨県甲府市に生まれる。
- ・昭和52年（1977年）甲府第一高等学校卒業。
- ・中央大学法学部政治学科卒業。昭和56年（1981年）4月NHK入局。福島放送局、青森放送局記者を経て、報道局政治部記者。首相官邸キャップ、政治部デスクを経て、平成13年（2001年）より解説委員。
- ・平成20年（2008年）より解説主幹。
担当分野：政治、外交、安全保障、選挙
主な解説：日米同盟強化の行方、首相靖国参拝の問題点
見えたか安倍外交の基軸、“2 兎を追う”安倍首相
- ・平成18年（2006年）より、NHK総合テレビ、ラジオ第一放送で日曜日午前9時から放送している「日曜討論」の司会を務める。
- ・平成30年（2018年）NHK名古屋放送局 局長
- ・現在：NHK放送文化研究所 研究主幹



首都圏甲府会賞 受賞者一覧

天野 航成 様 (あまの こうせい)	県立甲府南高校 3年生	ソフトテニス全日本U17メンバー。 県勢として初の選出。
飯野 理奈子 様 (いいの りなこ)	県立甲府第一高校 3年生	「SEIKA AWARD 2020」(京都精華大主催)で、全国から寄せられた表現作品826点から最高賞を受賞。受賞作「空色になんてならない。」。
加藤 勇典 様 (かとう ゆうすけ)	県立甲府工業高校電子科 3年生	2019年開催の「ロボットアイデア甲子園」で最優秀賞を受賞。駐輪場を管理する「自転車整理ロボット」を考案。
小林 健太郎 様 (こばやし けんたろう)	県立かえで支援学校 中学部2年	障害者への理解を促進する「障害者週間」の2019年度ポスター募集事業の「中学生区分」で最優秀賞を受賞。受賞作「みんななかよし」。
滝本 妃 様 (たきもと ひめ)	山梨大学附属中学校 2年生	新型コロナウイルスが拡大する中、お年玉等の貯金で手作りした布製マスク約1300枚を県などに贈った。型紙と手書きの製作手順がセットになった手作り用キットも作成し配布した。
団 体 山梨英和高校自然科学部	山梨英和高校	「環境科学会2019年会」の研究発表「学部生・高専生・高校生部門」で、最優秀賞・優秀賞のダブル受賞。最優秀発表賞「富士山ハリモミ林の枯死の原因を探る」(五味真奈美様、中川春菜様)、優秀発表賞「ミズダニを指標動物とする水質調査」(安藤千恵梨様、中澤志歩様)。
団 体 山梨大学附属中学校 チームピヨッピー	山梨大学附属中学校	2020年開催の「第20回創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会・基礎部門」第2位。 森屋大樹(もりや たいき)様と西野聖爾(にし の せいじ)様がメンバー。

① 甲府南高校 3年 天野 航成 様



U-17代表 遠藤陸斗(右)と天野航成

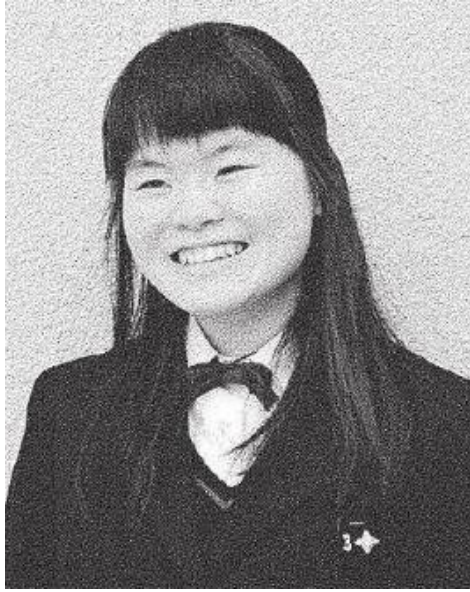
ソフトテニス全日本U17メンバー 天野 県勢初の代表
ソフトテニスの全日本U-17(17歳以下)代表に、敷島中出身の天野航成(甲府南高3年)と遠藤陸斗(千葉・木更津総合高3年)が選ばれた。県連盟によるとU-17代表メンバーに県内の選手が入るのは初めて。国際大会が中止になるなど新型コロナウイルスの影響で代表としての活動が不透明な中、小学校時代からペアを組む2人は再び“共闘”する日を夢見て自主練習に励んでいる。〈小池直輝〉

ペア再結成夢見て鍛錬

昨年、県や関東地区、全日本など4段階の選考があり、天野と遠藤を含む17人が今年1月、全日本U-17の男子メンバーに選出された。天野は昭和町出身でサーブとサーブレシーブが得意。南アルプス市出身の遠藤は豊富なスタミナとコートのギリギリを狙う高い技術力に定評があり、「厳しい環境で力を高めたい」と、強豪として知られる木更津総合高に進学した。2人は幼い時からペアを組んで全国大会に出場し、中学3年時には県中学総体で優勝した。現在は共にそれぞれの高校のソフトテニス部で部長を務めている。全日本メンバーへの選手が決まり、2人は「また、同じチームでプレーできてうれしい」と喜んだが、新型コロナウイルスの影響で国際大会が中止になるなど代表としての活動は不透明な状況となっている。5月23日。学校が休校となり実家に帰省中の遠藤と天野は、甲府市内のテニスコートで自主練習に取り組んでいた。2人は「また、ペアを組んでテニスをやりたい。代表でペアを組めたら最高」と口をそろえ、「いつかは2人で国体の山梨代表として試合に出たい」と目標を語った。

2020年5月28日山梨日日新聞

② 甲府第一高校 3年 飯野 理奈子 様



飯野理奈子さん

「第1回SEIKA AWARD 2020」最高賞見る人の感じ方常に意識
高校生を対象に京都精華大が今年創設したコンペディション「SEIKA AWARD 2020」。全国から寄せられた絵画や写真、彫刻、動画、アニメーションなど多彩な表現作品826点から、最高賞に輝いた。「まさか入賞すると思わなかったのうれしい」と控えめに喜ぶ。受賞作「空色になんてならない。」は、新聞や写真を貼ったパネルに絵の具を垂らし、ひもや木材などさまざまな素材を組み合わせたミクストメディアの技法で仕上げた。使った写真は、修学旅行などで撮影したスナップをモノクロに加工。「そのときのことを思い出せるようにノスタルジックに表現した」。水族館で撮ったチンアナゴや友達との何げない1枚が、詩的な画面を構成している。高校で所属する美術部では主に油絵を制作。今回初めて半立体作品に取り組み、「大胆にいろんな材料を盛り込めて面白い」と、新たな表現に手応えを感じたという。文学部にも所属し、詩の創作にも励む。昨年、絵画で山人特別賞・望月春江賞の口バートーククラウド賞を、詩では県高校芸術文化祭で優秀賞を受賞。「絵を描くのも詩を書くのもそんなに変わらない。絵の具を使うか、文字を使うか。自分では一つのことをやっている感じ」と、美術と文学の両面で才能を発揮している。受賞作の解説文には、屋上に上って空を見上げたときの思いをつづった「詩」を添えた。「・・・ミルクチョコレートみたいな青春だった。カカオ分90%の青春だった…ほろ苦い青春の一場面を切り取ったような受賞作だが、「何かを伝えたいというより、見る人がどう感じるか。見た人が何かを感じられる作品を作っていきたい」と淡々と語る。〈山本久美子〉

2020年4月9日山梨日日新聞

③ 甲府工業高校 3年 加藤 勇典 様

産業用ロボ活用案で加藤さん一位 初代王者「社会に役立てば」



ロボットアイア甲子園で
最優秀賞 加藤勇典さん

2020年1月5日山梨日日新聞

甲府工高電子科1年の加藤勇典さんは、産業用ロボットの新たな活用法を提案する全国コンテスト「ロボットアイデア甲子園」（F A・ロボットシステムインテグレータ協会主催）で優秀賞を受賞した。コンテストは初開催で、「初代チャンピオン」に。加藤さんは「まさか1位になれるとは思っていなかった。本当にうれしい」と喜んでいる。ロボットアイデア甲子園は、高校生や高等専門学校生、専門学校生に日常生活で産業用ロボットを活用する方法について考えてもらうことで、将来の人材育成につなげようと初めて開催。昨年8～11月に全国各地で予選会が開かれ、約300人の中から勝ち上がった11人が、昨年12月に東京ビッグサイトで開催された全国コンテストに出場した。加藤さんは11月に神奈川県で行われた地区予選を通過した。高校で情報システム部に所属している加藤さんは、部活動の一環でアイデアを考えた。過去に自転車にいたずらされた経験から、駐輪場を管理する「自転車整理ロボット」を考案。ロボットがアームを使って自転車を整理するため、レンタサイクル事業などにも応用できることや、人が関わることがないため盗難などの犯罪防止にもつながることを訴えた。審査委員からは実現可能性や経済性などが総合的に高く評価されたといい、最優秀賞に選ばれた。加藤さんは「自転車整理ロボットが開発され、社会の役に立つ時がくればうれしい」と話している。〈松本飛勇馬〉

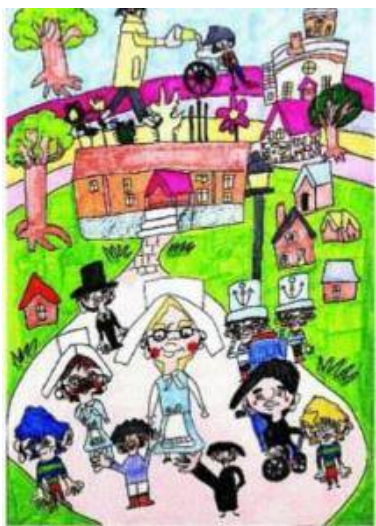
④ 県立かえで支援学校中学部2年 小林健太郎 様

「障害者週間」ポスターに思いを込めて 総理大臣賞受賞

障害者への理解を促進する「障害者週間」(12月3～9日)のポスター募集事業で、県立かえで支援学校中学部1年の小林健太郎さんの作品が中学生部門の最高賞に選ばれた。期間中、JR・有楽町駅前地下広場で展示される。主催する内閣府によると、山梨県の生徒が最高賞を受賞するのは初めて。全国から1163点(小学生469点、中学生694点)の応募があった。小林さんの作品は山梨県の推薦を受けた後、国の選考で最高賞に当たる内閣総理大臣賞に選ばれた。受賞作は、小林さんが「行ってみたい」とあこがれるスウェーデンをイメージ。作品上部には車いすに乗った小林さんと車いすを押すいこの姿を描いた。母親の美奈さん(38)によると、小林さんは長時間歩くことが難しく、会話はあまり得意ではない。小さい頃から絵を描くのが大好きで、受賞作は今年9月、いこと茨城県の水族館に遊びに行った後、3時間ほどかけて描き上げた。水族館では車いすでは通れないエリアがあり、いこと別行動する場面があった。美奈さんは「ずっと一緒にいたかったのかもしれない」と話す。受賞作のタイトル「みんな なかよし」にも小林さんの思いが込められている。受賞の一報を学校から受けた美奈さんから知らされると、小林さんは片手の親指をぐいっと立てて喜びを表したという。12月4日に都内で行われる表彰式には家族で出席する。〈植田裕作〉



健太郎さんと母親の美奈さん



作品：みんな なかよし

2019年11月29日 山梨日日新聞

⑤ 山梨大学附属中学校 2年 滝本 妃 様



滝本 妃さん

手作りマスクを県などに贈った 滝本さん 助けたいが原動力

新型コロナウイルスが拡大する中、手作りの布製マスク約1300枚を県などに贈った。「多くの人に使ってほしいという気持ちで作った。いろんな人の手元に届けられ、使ってもらえてうれしい」と笑顔を見せる。「多くの人を助けたい」。その純粋な思いが製作の原動力になっている。きっかけは2月中旬に薬局でマスクを買えなかった高齢者を見かけたこと。「何か力になれることはないか」と思ったという。貯めたお年玉の一部でマスクの材料を購入し、2月下旬から勉強の合間に作り始めた。午前5時から製作に取り組むこともあった。3月下旬に1週間ほど、製作から離れた時期があった。県内外から「ありがとう」「心

温まるニュースだった」と感謝や励ましの声が寄せられた一方、SNS（会員制交流サイト）上には「布マスクは役に立たない」など心ない声もあり、気持ちが沈んだ。通学する山梨大付属中の担任教諭らから励ましを受け、「もう一度、作ろうという気持ちになった」。5月にはマスクを手作りするための型紙などをセットにしたキットを県教委に寄贈。作ったマスクやキットは児童養護施設や高齢者施設などに配布されている。自身の手作りマスクを着けた人を見かけた時には、うれしさと胸がいっぱいになるという。「つらい時期もあったが、今はやってよかったと思っている。これからも作っていきたい」。学校が再開した現在も、時間を見つけてマスク作りを続けている。七夕の短冊には毎年、「英語ができる医者になりたい」と願い事を書いている。「日本人も外国人も、どんな人でも助けられる医者になる」。その目はきらきらと輝いていた。〈土屋圭佑〉

2020年5月8日山梨日日新聞

⑥団体 山梨英和高等学校 自然科学部



英和高校 自然科学部のメンバー

全国環境科学会 最優秀賞と優秀賞 ダブル受賞4回目

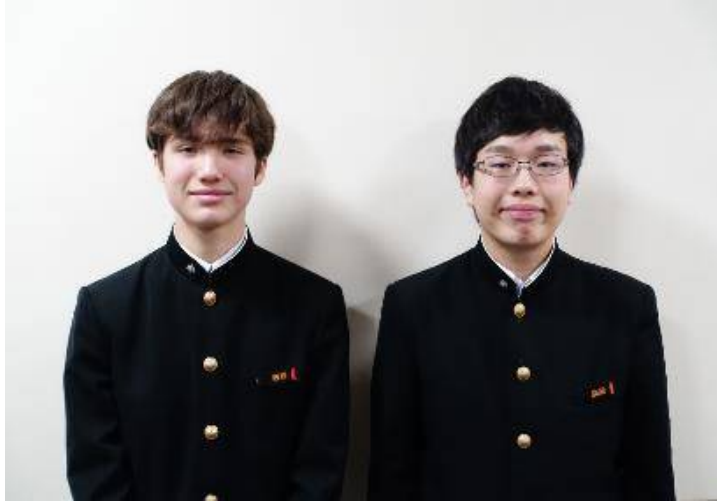
山梨英和中高自然科学部の高校生2グループは、全国の研究者が参加する環境科学会2019年会でポスターによる研究発表を行い、大学生や高専生、高校生らの部門で受賞した。2013年から参加していて、最優秀・優秀のダブル受賞は16年以來4回目。13グループが参加し、高校優秀発表賞と優秀発表賞の同時受賞は同高のみだった。最優秀賞には五味真奈美さんと中川春菜さん（いずれも2年）の「富士山ハリモミ林の枯死の原因を探る」、優秀賞には安藤千恵子さんと中沢志保さん（同）の「ミズダニを指標動物とする水質調査」が選ばれた。ハリモミ林の研究では、山中湖村にあるハリモミの純林が枯死している原因を探るため、土壤生物を中心に調査した。「予備調査を含

めて5千匹くらい数や種類を調べた」（五味さん）という。枯死の程度によって、土壤生物の種類と数が異なるという結論を得た。中川さんは「ハリモミ林の健康診断に生かせるかもしれない」と話す。ミズダニの研究は、北杜市を流れる須玉川と笛吹市を流れる平等川でミズダニの種類を調査。両河川の水質を評価した。4人とも「出場者はほとんどが大学生で無理だと思っていたから、受賞に驚いた」と笑顔を見せる。研究者を目指している五味さんは「調べるほど真実に近づけるのが、研究の魅力。顧問の山本紘治先生や協力してくれた人に感謝したい」と話している。〈手塚美菜子〉

2019年9月30日 山梨日日新聞掲載

⑦団体 山梨大学附属中学校 チームピヨッピー

西野聖爾・森屋大樹 様 「第20回創造アイデアロボットコンテスト
全国中学生大会・基礎部門」第2位



左：西野聖爾さん 右：森屋大樹さん

森屋大樹（もりや たいき）さんと西野聖爾（にしの せいじ）さんは、甲府市在住で山梨大学教育人間科学部附属中学校に通う3年生である。学校では科学部に所属し、ロボットコンテストでの活躍を目標にチームを組んでいる。（チーム名は「ピヨッピー」）

森屋さん、西野さんはともに小学生からの同級生で、低学年のときは同じアパートに住んでいたこともあり、互いに旧知の仲である。

森屋さんは小学6年生のときにロボットコンテストの県大会を見学したのをきっかけに興味が高まり、科学部に入部した。ロボコンの面白さは工夫一つで独創的なアイデアを生み出せることで、主に操作

を担当している。西野さんは父親が工業系の仕事に携わっている家庭環境からロボットに興味を持ち、入部に繋がった。ロボコンの面白さは一つの閃きで色んな方向のアイデアを生み出せることで、パートナーである森屋さんは、西野さんのロボットを製作する技術力、競技中の電池交換などの的確なサポートを非常に頼りにしている。今回、令和2年1月25日に開催された「第20回創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会・基礎部門」で第2位に輝いた。本大会は県大会、関東甲信越大会を勝ち抜いた代表者が出場資格を持つ大きな大会で、2人のチーム「ピヨッピー」は初出場でありながら快進撃を続けた。

2020年1月 山梨日日新聞掲載

休憩（17：50～18：00）

動画を放映いたします。

CMIC 甲府市 山梨大学 首都圏甲府会

第2部 オンライン講演会

〈前半〉 I・Uターンパネルディスカッション

進 行 島田 敏男

パネリスト 市川 哲平 様

丹沢 仁 様

柳沢 隆広 様



出身

神奈川県
横浜市

職業

農家

Ichikawa
市川

Teppei
哲平

- 市ヶ尾高等学校を卒業後、東京農業大学へ進学
- 卒業後、日通株式会社にて勤務
- 元々農業に興味があり、一念発起して**2017年に甲府市へ移住**
- 現在は、20種類ほどの野菜を栽培する傍ら、新規就農者の支援にも力を入れている





出身

甲府市

職業

行政書士

Tanzawa Hitoshi 丹澤 仁

- 駿台甲府高等学校を卒業後、アメリカの大学へ進学
- 帰国後、株式会社CAMやヤフー株式会社などでインターネット広告の普及に尽力
- 2016年、甲府市で「行政書士たんざわ事務所」を開業
故郷の人たちをさまざまな業務でサポートしている



出身

甲府市

職業

登山
ハイキング
登山ツアーガイド

Yanagisawa Takahiro

柳澤 隆広

- 甲府第一高等学校を卒業後、早稲田大学へ進学
- 卒業後、日本アイ・ビー・エム株式会社やプルデンシャル生命保険株式会社にて勤務
- **2018年、家業の登山用品店ELKの事業継承を見据え地元へ戻るとともに、山梨の豊富な自然環境の素晴らしさを国内外へ紹介するために「株式会社GATES」の代表として日夜奮闘中**

〈後半〉 ふるさと応援記念講演

「Go To Kofu

～新型コロナウイルス対応と取り組み～」

山梨大学学長 島田 眞路 様

京都出身。東京大学医学部卒業。NIH(米国国立衛生研究所)留学、東京大学皮膚科助教授、山梨大学皮膚科教授、同大学医学科長、病院長、日本皮膚科学会理事長を経て現職。医学博士。



【首都圏甲府会会則】

第1条（名称および所在地）

- 1 本会は、首都圏甲府会と称し、本部を、東京都港区芝浦一丁目1番1号に置く。
- 2 連絡所を、甲府市役所情報発信課に置く。

第2条（目的および会員）

本会は、以下の事項を目的とし、本会の目的に賛同する甲府市の出身者、甲府市にゆかりのある者、そして、甲府が大好きな個人および団体をもって構成する。

- （1）会員相互の親睦を図り、郷土の発展に寄与すること。
- （2）山梨県人会連合会の中にあり、次世代を継ぐ若人たちを育成すること。
- （3）甲府市はもとより、山梨県および日本の発展を念頭に、世界の平和に寄与すること。

第3条（事業）

本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を

行う。

- （1）郷土訪問および親睦旅行を行うこと。
- （2）研修会および講演会を開催すること。
- （3）山梨県人会の各種行事に参加すること。
- （4）甲州金まんじゅうなどの事業を行うこと。
- （5）サムライグループ TAKEDA の支援及び関連する事業を行うこと。
- （6）顕著な業績を挙げた関係者を表彰して支援すること。
- （7）その他本会の目的達成に必要と認められる事業および付帯する一切の事業。

第4条（役員）

本会に次の役員をおく。

会長1名、会長代行3名、副会長若干名、会計2名、事務局長1名、理事若干名、監事2名

第5条（役員の選出）

- 1 会長は役員会にて選任し、総会の承認を得る。
- 2 その他の役員は会長の推薦により選任し、役員会

および総会に報告する。

第6条（役員の任期）

- 1 役員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。
補欠により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 2 役員は、任期終了後でも後任者が就任するまではその職務を行わなければならない。

第7条（役員の任務）

- 1 会長は、本会を代表して会務を掌り、会議の議長となる。
- 2 会長代行は、会長を補佐し会長に事故あるときは職務を代理する。
- 3 副会長は、会長を補佐する。
- 4 会計は、本会の会計を担う。
- 5 事務局長は、本会の総務を担う。
- 6 監事は、本会の会計監査を担う。

第8条（名誉会長および顧問）

- 1 本会に、名誉会長、顧問、相談役をおくことができる。
- 2 名誉会長、顧問、相談役は、会長が会員に諮りこれを推薦する。

第9条（経費等）

- 1 本会の経費は、年会費・助成金・寄付金その他の収入をもってあてる。
- 2 年会費は、会長5万円、会長代行3万円、副会長3万円、理事1万円、監事3万円、名誉会長1万円、顧問1万円、相談役1万円、一般団体1万円とし、会計年度中に納入する。

第10条（事業年度）

本会の事業年度は、毎年1月1日から12月31日までとする。

平成25年1月 1日 施行

平成30年3月14日 改

甲府市を応援してください！ ←

あなたと大切な方のアニバーサリーに@甲府市ふるさと応援寄附金
～開府 500 年の歴史と豊かな自然が育んだ“極上の逸品”で特別な日を彩りませんか～

甲府市では皆さまからの「ふるさと応援寄附金」を次の用途に活用し、かけがえのない
「ふるさと」を次の世代へ引き継いでいく「まちづくり」を進めていきます！ ←

活 用 用 途

いきいき
風 人づくり
のために ←

すこやか
林 福祉づくり
のために ←

住みよい
火 環境づくり
のために ←

山 県都甲府の
まちづくり
のために ←

歴史ある街中の
動物園の
再整備のために 他 ←



☆ふるさと納税とは

生まれ故郷や好きな地域の自治体などを「応援したい」「貢献したい」という想いを寄附という形にさせていただくものです。皆さまのご支援をお願いいたします。

寄附をしていただいた方には、所得税や住民税の控除が受けられる他、希望される方にお礼の品をお送りします。



○利用方法

「甲府市 ふるさと納税」とインターネットで検索してください。

(インターネットがご利用になれない場合等は、お問い合わせ先までご連絡ください。)

○お問い合わせ先

<https://www.furusato-tax.jp/city/product/19201>

甲府市 産業部 産業総室 総務課 (TEL 055-237-5328)



ふるさとチョイス

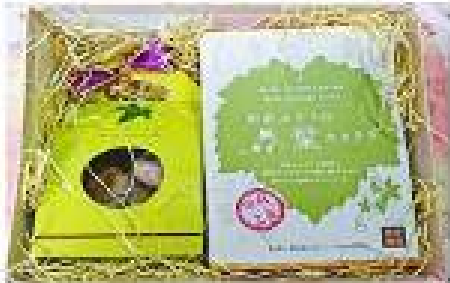
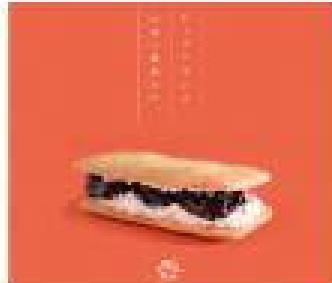
検索



山梨県 甲府市

ふるさと応援寄附金 お礼の品リスト

甲州牛《名水が育む銘柄和牛》 コースステーキ	甲州牛《名水が育む銘柄和牛》 たっぷり肩ロースすき焼き用	甲州牛《名水が育む銘柄和牛》 肩ロースすき焼き用	甲州地どりスモークセット	甲州地どりお手軽セット	甲府之証ブランドセット	山梨県甲府市産「ひのひかり」 5kg
						
55,000円	55,000円	33,000円	20,000円	5,000円	10,000円	7,000円
緑溢れる豊かな山々に囲まれた山梨は、ミネラルウォーターの生産量日本で【名水の里】といわれています。この素晴らしい環境の中で黒毛和種を肥育し品種の優れた牛のみが甲州牛として販売されています。柔らかい肉質、鮮やかな肉色…	緑溢れる豊かな山々に囲まれた山梨は、ミネラルウォーターの生産量日本で【名水の里】といわれています。この素晴らしい環境の中で黒毛和種を肥育し品種の優れた牛のみが甲州牛として販売されています。柔らかい肉質、鮮やかな肉色…	緑溢れる豊かな山々に囲まれた山梨は、ミネラルウォーターの生産量日本で【名水の里】といわれています。この素晴らしい環境の中で黒毛和種を肥育し品種の優れた牛のみが甲州牛として販売されています。柔らかい肉質、鮮やかな肉色…	甲府の証に認定された甲州地どり。太陽の下、土の上でのびのびと健康に育ちました。モモ肉は上質な脂がにじみ出て食べ応えある仕上がりです。ムネ肉はしっかりといてサラダの上にのせたり、すしネタにも使えます。ササミはお酒のお…	甲府の証に認定された甲州地どり。太陽の下、土の上でのびのびと健康に育ちました。奥みのないササミは丹念にスモークし、しっかりとしたムネは上質な脂を加えソーセージに加工いたしました。甲州地どりをお手軽に楽しめるセットです。…	甘くて有名なとうもろこし「きみひめ」。こちらを使用し、ヘルシーに仕上げたきみひめ大福と、ロールケーキのセットです。甲府市の人気スイーツのひとつで、帰省されたお孫様にも喜ばれと評判です！甲州地どりは、富士山を初め、山々…	・JA山梨みらいの旧JA甲府市管内で生産された山梨県甲府市産ひのひかり。・原料はすべてJA検査米使用。・最新鋭精米装置と全国量販店対応基準の異物除去装置により精米。・武田信玄公より授かった「吉」の屋号「吉宇屋」を継承。・創業1…

甲府ぶどうの葉セット	葡萄屋kofu ラムレーズンサンド 12枚箱入	甲州金まんじゅうセット	甲州銘菓 武田兵糧丸 2種類のパイ8個入り
			
5,000円	10,000円	10,000円	5,000円
カステラ・サブレボール共に、新鮮な新芽を粉末にし生地に練り込み使用しました。また、カステラは保存料等、添加物は使用せず昔ながらのカステラに仕上げてあります。特許および、甲府市の認定を獲得したお菓子です。卵と砂糖とはちみ…	葡萄屋kofuの人気No.1商品。果肉感たっぷりの山梨県産巨峰の生レーズンを、マイヤーズラムと香り高いマール(山梨の老舗ワイナリーが造るブドウの蒸留酒)に漬け込み、ホワイトチョコレートと合わせたクリームと一緒になんと3粒！はさみま…	さつまいも、白いんげんを使用した餡。自家製のミルクジャムを使った乳菓生地。生地に餡を混ぜ、前日から寝かせることでしっとりとした仕上がりになっています。竹炭を入れた黒色のインパクトのある生地に金箔を一枚一枚手作業で貼り付…	兵糧丸とは、戦国時代の合戦で携帯された保存食です。山梨県菓子工業組合の組合員である「菓子工房 くるみ屋」が意匠を凝らして当時の兵糧丸を現代風に美味しく創作したお菓子です。ゴマ入りのあんとクルミを入れてパイ生地で包んだご…

税の軽減効果
最大約9%!

社会貢献!

10万円から
できる!

企業版ふるさと納税で

甲府応援団 になりませんか?

加入の条件

甲府市に本社がない
企業のみなさま

みなさまの応援、
お待ちしております!

応援団加入申し込みはコチラ

甲府市 情報戦略室 情報発信課

〒400-8585

甲府市丸の内一丁目18番1号 (本庁舎5階)

TEL: 055-237-5314 FAX: 055-237-0097

ウラも
チェック!

企業版ふるさと納税とは?

甲府市に本社をもたない企業のみなさまが、
寄附を通じて甲府市が行う地方創生の取り組みを応援すると、
税制上の優遇措置が受けられます。



軽減効果
最大約9割に!

損金算入による軽減効果※
国税 + 地方税
約3割

① 法人住民税 + ② 法人税
4割

③ 法人事業税
2割

企業負担
約1割

通常の寄附※

企業版ふるさと納税を活用した寄附

※企業が地方公共団体に寄附した場合は、その全額が損金算入されるため、寄附額の約3割(法人実効税率)相当額の軽減効果があります。

税目ごとの
特例措置

- ① 法人住民税 寄附額の4割を税額控除(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ② 法人税 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度(法人税額の5%が上限)
- ③ 法人事業税 寄附額の2割を税額控除(法人事業税額の20%が上限)

たとえば、甲府市に100万円を寄附した場合・・・

最大約90万円の法人関係税が軽減されます!

ほかにも、こんなメリットが!

■ 応援したい事業が選べる!

1. 「ひと」に関わる事業

甲府で夢を叶える人材の
定着と、関係・交流人口
の増加事業に活用します



2. 「しごと」に関わる事業

甲府を支える地域産業と
雇用環境の充実事業に活
用します



3. 「こども」に関わる事業

甲府で希望を叶える総合
的な子育て・子育て支援
と、教育環境の充実事業
に活用します



4. 「まちづくり」に関わる事業

甲府の未来をつなぐ良好な
生活環境の整備と持続可能
なまちづくり事業に活用し
ます



■ 寄附のタイミングが選べる!

■ 企業のPRになる! (社会貢献)

■ 寄附は10万円から可能!

■ 地域資源を活かした新事業が展開できる!

かんたん! 応援 3 ステップ



応援よろしくお願いします!

内閣府のサイトもご覧ください▼

企業版ふるさと納税ポータルサイト

検索



首都圏甲府会 申し込みサイト

<http://www.ymkp.net/contact/>



首都圏甲府会 サイト

<http://www.shutokenkofukai.jp/>

